

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、2010年6月1日～2022年3月31日に当院にて経皮的心房中隔欠損閉鎖術または外科的心房中隔欠損閉鎖術による加療を施行された患者さんを対象として、適切な治療法等を明らかにするために研究を行っております。本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等下記の研究に利用されることをご希望されない場合は、末尾に記載しました【お問い合わせ先】までご連絡ください。ご不明な点がある方も【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。情報の登録が終了し、解析を開始した後に協力取り消しを申し出られた場合は、本研究への協力を取り消すことができなくなります。なお、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受ける上で不利益が生じることはありません。

【研究課題名】

経皮的心房中隔欠損閉鎖術の安全性、有用性と予後に関わる因子の検討

【研究機関】愛媛大学医学部附属病院 小児科/循環器・呼吸器・腎高血圧内科/心臓血管・呼吸器外科

【研究責任者】檜垣 高史（地域小児・周産期学講座 教授）

【研究の目的】

当院で経皮的心房中隔欠損閉鎖術ならびに外科的心房中隔欠損閉鎖術による加療を受けられた患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、実態調査を施行し両者を比較検討することで経皮的心房中隔欠損閉鎖術の安全性・有用性やその予後に関わる因子を検討すること。

本研究の結果は、経皮的心房中隔欠損閉鎖術による的確な治療戦略の選択に役立つものと考えております。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2010年6月1日から2022年3月31日に愛媛大学医学部附属病院で経皮的心房中隔欠損閉鎖術ならびに外科的心房中隔欠損閉鎖術による加療を受けられた患者さん

(利用するカルテ情報) 性別、年齢、基礎心疾患、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況、転帰 等

【共同研究について】

この研究は、当院で解析を行います。あなたのデータが外部に送られることはありません。あなたの情報を含む多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院 小児科 赤澤 祐介

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 小児科 赤澤 祐介
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5320